

【MakeWay合同会社】

内視鏡医療の完全省人化を実現する スコープホルダー『Mote Mote (モテモテ)』の進化開発

開発のねらい 内視鏡医療現場の省人化により、下記の社会課題解決に寄与する。

- ①医療人材不足 (医療現場の人手不足)
- ②感染症拡大防止 (新型コロナウイルス感染症対策)
- ③スタッフのX線被爆 (医療従事者の職業被爆)

開発の概要 製品名：スコープホルダー『Mote Mote_One Touch』



消化器内視鏡（スコープ）を用いた検査や治療において、術者や介助者に代わってスコープを保持する新しい医療機器。従来必要であったスコープを保持する介助者（スコープ保持者）が不要になり、内視鏡医療における省人化を実現した。

特長 1. スコープを術者が所望する位置で黙ってしっかりと保持し続ける。

医療現場の省人化（スコープ保持者不要（他業務へ）の実現）による、

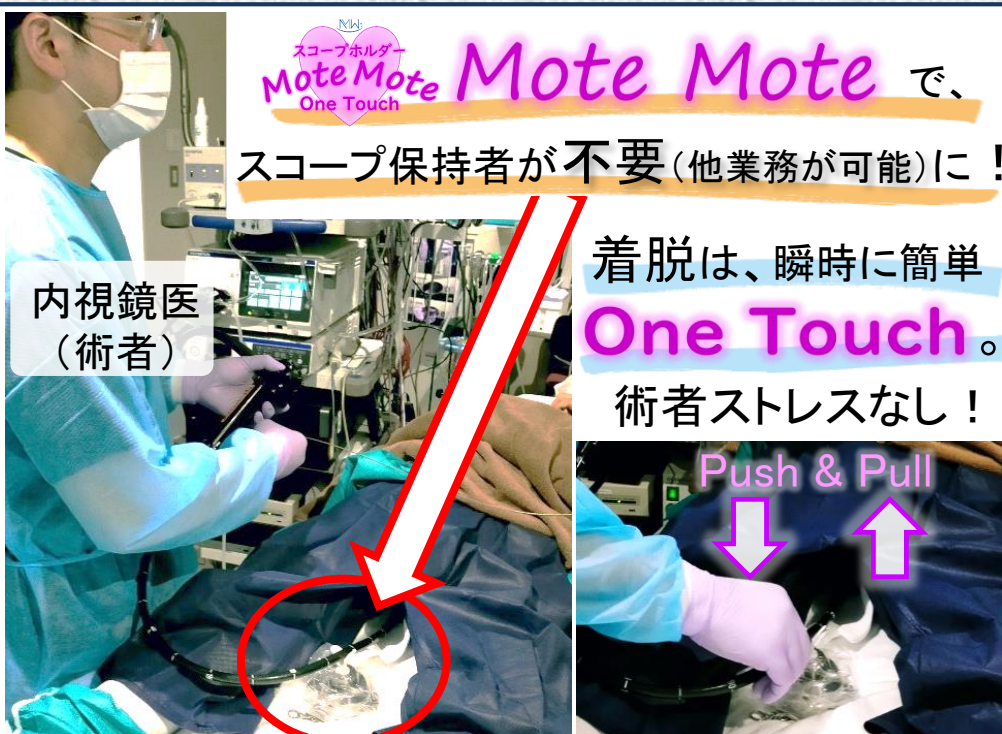
①医療人材の不足対策、②感染症拡大防止対策 に貢献

X線透視装置を併用する内視鏡医療（ERCPなど）においては、

③保持者のX線被爆（医療者の職業被爆）の軽減 に貢献

2. 着脱がスムーズワンタッチ！手技の流れを邪魔しない、現場に馴染む

- 用途
- 消化器内視鏡医療におけるスコープや他の機器の保持
 - 他の医療分野や介護におけるチューブやホースなどの器具類の保持



開発した製品の外観（詳細は下記HP） これからの大腸がんの内視鏡治療（大腸ESD）

お問い合わせ先

【所在地】 埼玉県入間郡毛呂山町中央3-17-36

【連絡先】 TEL 049-294-8580 FAX 049-295-5225

<https://makeway-medical.com>

